

「馬鹿者」と、感謝を告げた。

「くたばれ」と、愛を告げた。

倒れても人の手は借りたくない頑固な和紙職人と、韓国からやってきた落ちこぼれ女子。

交わるはずのなかったふたりの、魂と心が通いあう。



つむぐもの

TSUMUGUMONO

石倉三郎　キム・コッピ　犬童一利監督作品

吉岡里帆　森永悠希　隆（新人）　本多章一　結城貴史　広澤草　伊東愛　宇野祥平　内田慈　日野陽仁

主題歌：「月の砂漠」城 南海（ポニーキャニオン）

企画・製作統括：梅田一宏　エグゼクティブプロデューサー：吉田どきお、前田紘孝　プロデューサー：前信介　アソシエイトプロデューサー：石川紘嗣
脚本：守口悠介　音楽：茂野雅道　撮影：伊集守忠　照明：大久保礼司　録音：根本飛鳥　美術：吉川都和　助監督：平波亘　制作担当：半田雅也　衣装：中橋じゅん　ヘアメイク：堀奈津子
韓国コーディネーター：金益来　福井県担当コーディネーター：林良宗　編集：佐々木弥生　整音：越智美香　音響効果：勝亦さくら　スチール：北島元朗
特別協賛：すずきこどもクリニック 鈴木幹啓、㈱やさしさ紀の風@新宮市　協力団体：福井県和紙工業共同組合、一般社団法人日本介護協会、一般社団法人日本介護事業連合会
協力：大韓民国扶餘郡、扶餘郡庁・林榮喆、扶餘放送、韓国伝統文化大学校、社会福祉法人わかたけ共済部、今立中央病院、越前市　特別協力：石川浩
配給協力：協同組合ジャパン・スロー・シネマ・ネットワーク　「つむぐもの」製作委員会：プリンシパル、丹南ケーブルテレビ、ソウルエイジ　制作プロダクション：ソウルエイジ　配給・宣伝：マジックアワー
©2016「つむぐもの」製作委員会　2016／日本／カラー／DCP／ヨーロピアン・ヴィスタ／5.1ch／109分　www.tsumugumono.com　www.facebook.com/tsumugumono



人が最期まで自分らしく生きることとは――。

「他人の手なんか、絶対にかりるものか」「うるせぇ、くそじじぃ」
国籍も世代もなにもかも違うふたりがつむぐ、感動の物語。



人生とは、介護とは、何か?――世界一の長寿国、日本。わたしたち一人ひとりが安心して老いを迎えるには、助け合いが欠かせない。家族や地域のかたちの変化にともない、人生のラストステージの過ごし方は多様化している。



人が最期まで自分らしく生きるためには何が必要なのか? どうすれば相手を理解し、相手の生き方を尊重できるのか? 言葉も文化も価値観もまるで違う本作の主人公ふたりは、他人事だと思っていた介護を通して深い絆を育み、互いにかけがえのない存在になっていく。1年にわたるその過程をユーモアとペーソスを交えて丹念に描くことで、すべての人に人生の輝きとは何かを問いかけるエンタテインメントが誕生した。

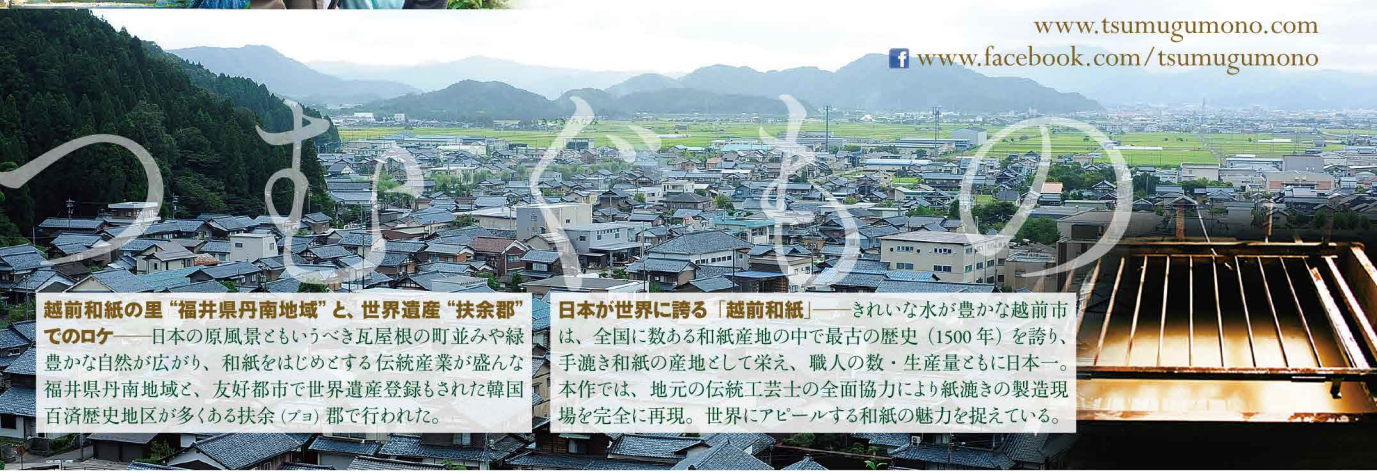


ものがたり――妻に先立たれて一人暮らしの和紙職人・剛生の元に、ワーキングホリデーでやってきた韓国人のヨナ。当初は日本で越前和紙作りの手伝いをするはずだったが、職人の剛生が脳腫瘍で倒れてしまい、なんと、介護をすることに! しかし、剛生は誰にも心を開かず、偏見にまみれた悪態をついてばかり。それでも勝気なヨナはひるむことなくぶつかっていき、やがて剛生の気持ちにも思いもよらぬ変化が訪れる…



芸歴50年! 映画初主演の石倉三郎が、紙漉き一筋の職人役で新境地を見せる。
ヒロイン役は、『息もできない』で世界的な脚光を浴びたキム・コッピ。その他、NHK連続テレビ小説「あさが来た」や『明烏』の吉岡里帆、『ちはやふる』「花燃ゆ」の森永悠希が、介護施設や伝統工芸の現場で奮闘する新人役で出演。さらに、奄美出身の歌姫・城 南海の主題歌「月の砂漠」が映画にさらなる奥行きを与えている。

www.tsumugumono.com
www.facebook.com/tsumugumono



つむぐもの

越前和紙の里“福井県丹南地域”と、世界遺産“扶余郡”でのロケ――日本の原風景ともいうべき瓦屋根の町並みや緑豊かな自然が広がり、和紙をはじめとする伝統産業が盛んな福井県丹南地域と、友好都市で世界遺産登録もされた韓国百済歴史地区が多くある扶余(プヨ)郡で行われた。

日本が世界に誇る「越前和紙」――きれいな水が豊かな越前市は、全国に数ある和紙産地の中で最古の歴史(1500年)を誇り、手漉き和紙の産地として栄え、職人の数・生産量ともに日本一。本作では、地元の伝統工芸士の全面協力により紙漉きの製造現場を完全に再現。世界にアピールする和紙の魅力を捉えている。